

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東  
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 白土 孝  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 杉浦 功四郎 (TEL) (03)3316-1911  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年2月期第3四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	26,699	△5.9	900	△52.3	975	△51.4	480	△59.1
25年2月期第3四半期	28,364	△3.7	1,888	30.4	2,009	33.4	1,175	60.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	31.35	31.32
25年2月期第3四半期	76.51	76.46

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	28,935	15,915	55.0
25年2月期	29,849	16,192	54.2

（参考）自己資本 26年2月期第3四半期 15,905百万円 25年2月期 16,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	10.00	—	30.00	40.00
26年2月期	—	20.00	—		
26年2月期(予想)				20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	37,300	△3.5	1,890	△30.4	2,030	△30.1	1,100	△55.5	71.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 会計方針の変更については、四半期決算短信（添付資料）4 ページ「(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	15,597,638株	25年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	260,061株	25年2月期	277,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	15,332,075株	25年2月期3Q	15,366,947株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信（添付資料）3 ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成25年3月1日～平成25年11月30日）における我が国の経済は、いわゆる「アベノミクス」に伴う円安・株高を背景に、生産活動や消費マインドの改善が進んだものの、資産効果による消費は一部にとどまっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

#### 1) 消費環境の状況

カジュアルウェア市場におきましては、消費者マインドは持ち直しつつあるものの、節約志向への意識が依然として強い中、市場競争は激化し、予断を許さない状況であります。

また、天候については、春は寒気の影響により低温となった日が多かった一方、夏は平年より高温となり各地で猛暑となりました。9月から11月上旬にかけても気温が高く、秋冬物の衣料品の消費に影響を及ぼしました。

#### 2) 当社の状況

厳しい消費環境のもと、当社は以下のような施策を実施して、顧客満足度の向上を図り、集客に努めておりますが、天候不順の影響を強く受けたことによる売上機会損失、更に処分期における売価変更増加等により、売上高及び売上総利益ともに計画を下回りました。

##### ①商品施策

商品面におきましては、春夏は吸汗速乾、抗菌防臭などの夏機能素材「SA・RA・RI Cool」を使用した商品や、日用品メーカーの衣料用柔軟仕上げ剤の香りがするレディースウェアを発売するなど、話題性のある商品開発を実施し、秋冬は保温効果の蓄熱機能素材「MAC HEAT」を使用した商品を展開して、お客様ニーズに応える品揃えとしました。

尚、当第3四半期累計期間におけるPB及びNPB（ナショナルプライベートブランド）のシェアは前年同期と比較して約9ポイント増の約51%となりました。また、鮮度管理を徹底すべく、持ち越し商品の処分を積極的に進めております。

##### ②販売施策

販売促進活動におきましては、昨年好調に推移したナノプラチナコロイド配合の「ナノプラチナデニム」、伸縮性に優れた新感覚デニム「RUN DENIM」や、保温保湿効果に優れたスキニーパンツ「魔法の美脚」のTVCMをそれぞれ放映するとともに、軽量で暖かい「ライトキルトジャケット」を新聞広告掲載いたしました。また、女性をターゲットとした着こなし提案で好評なフリーマガジン「nana STYLE」を引き続き発行しました。更に、シニアをターゲットに、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引販売を継続実施したほか、モバイル会員様向け特典の配信を継続的に実施し、多数のお客様からの支持を得ました。

##### ③出退店施策

出退店につきましては、19店舗の業態変更を含む改装を実施したほか、SC（ショッピングセンター）に29店舗を新規出店いたしました。一方、19店舗の退店により、当第3四半期会計期間末店舗数は486店舗（前年同四半期比3店舗増加）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は26,699百万円(前年同四半期比5.9%減)、売上総利益率は前年同四半期比0.7ポイント減(48.0%)、営業利益は900百万円(前年同四半期比52.3%減)、経常利益は975百万円(前年同四半期比51.4%減)、四半期純利益は480百万円(前年同四半期比59.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ913百万円減少し、28,935百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ755百万円減少し、21,091百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,795百万円減少した一方で、売掛金が958百万円、商品が1,850百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ158百万円減少し、7,843百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が291百万円減少したこと等によるものであります。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ635百万円減少し、13,020百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ224百万円減少し、10,451百万円となりました。これは主にファクタリング債務が1,317百万円、未払法人税等が922百万円それぞれ減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,526百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ411百万円減少し、2,568百万円となりました。これは主に長期未払金が192百万円、長期リース資産減損勘定が213百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ277百万円減少し、15,915百万円となりました。

これは主に四半期純利益を480百万円計上した一方で、剰余金の配当766百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は55.0%となり前事業年度末に比べ0.8ポイント増となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年10月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,322	10,526
売掛金	364	1,322
商品	6,541	8,392
前払費用	371	353
繰延税金資産	187	45
その他	60	452
流動資産合計	21,847	21,091
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	162	153
建物附属設備(純額)	862	1,095
構築物(純額)	43	51
車両運搬具(純額)	2	—
工具、器具及び備品(純額)	71	90
リース資産(純額)	—	3
土地	238	238
その他	3	—
有形固定資産合計	1,384	1,633
無形固定資産		
投資その他の資産	113	160
長期前払費用	201	212
敷金及び保証金	5,358	5,066
繰延税金資産	871	757
その他	127	50
貸倒引当金	△55	△37
投資その他の資産合計	6,503	6,048
固定資産合計	8,001	7,843
資産合計	29,849	28,935

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302	6,829
ファクタリング債務	2,810	1,492
未払金	537	501
未払法人税等	937	14
未払費用	643	1,218
賞与引当金	111	24
店舗閉鎖損失引当金	15	—
リース資産減損勘定	222	257
資産除去債務	17	12
その他	78	100
流動負債合計	10,676	10,451
固定負債		
長期未払金	274	81
退職給付引当金	1,379	1,415
転貸損失引当金	265	239
長期預り保証金	219	186
長期リース資産減損勘定	248	34
資産除去債務	592	607
その他	0	2
固定負債合計	2,979	2,568
負債合計	13,656	13,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	9,428	9,140
自己株式	△163	△152
株主資本合計	16,182	15,905
新株予約権	9	9
純資産合計	16,192	15,915
負債純資産合計	29,849	28,935



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	28,364	26,699
売上原価	14,552	13,873
売上総利益	13,812	12,826
販売費及び一般管理費	11,923	11,925
営業利益	1,888	900
営業外収益		
受取利息	16	15
受取家賃	302	279
その他	106	64
営業外収益合計	425	358
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸費用	284	261
転貸損失引当金繰入額	13	—
その他	4	20
営業外費用合計	305	284
経常利益	2,009	975
特別利益		
受取違約金	14	8
店舗閉鎖損失引当金戻入額	18	—
その他	—	0
特別利益合計	32	9
特別損失		
固定資産除却損	18	13
店舗閉鎖損失	23	—
減損損失	3	24
特別損失合計	45	37
税引前四半期純利益	1,996	947
法人税、住民税及び事業税	561	210
法人税等調整額	259	255
法人税等合計	820	466
四半期純利益	1,175	480

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第3四半期累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社は衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

期別 商品別	前第3四半期累計期間 自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	当第3四半期累計期間 自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	前年同四半期比	増減
メンズアウター	1,053百万円	1,056百万円	100.3%	2百万円
メンズインナー	7,317百万円	6,872百万円	93.9%	△445百万円
メンズボトムス	5,559百万円	5,182百万円	93.2%	△376百万円
レディース	7,981百万円	7,632百万円	95.6%	△348百万円
その他	6,452百万円	5,955百万円	92.3%	△496百万円
合計	28,364百万円	26,699百万円	94.1%	△1,665百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。